## 年間取組検証シート

種別施策改革

No	改革名称
39	郷育カレッジ※ 運営方法の見直し

部	課
教育部	郷育推進課

## 現状·課題

平成15年10月の郷育カレッジ創設から一定期間を経過し、この間、地域人材の発掘や教育機関との連携など、活動内容は当初と比較してより広範囲かつ多岐にわたるものとなっている。一方、若年層の受講生の比率が高齢者層と比較して低いことや、本事業が津屋崎地区に十分浸透していないことなどの理由から、当初市が目標とした地域人材の育成に必ずしもつながっていかない現状がある。また、カレッジの内容が充実する反面、企画、運営に関わる郷育カレッジ運営委員の負担が増大しており、今後、現在の運営体制や規模を発展、充実させていくために、更なる人材発掘、活用が必要と考えられる。

## 改革内容

運営委員、有識者等による検討会議を立ち上げ、郷育カレッジの講座内容、運営方法及び運営組織等の見直しを図る。

基準値	目標	効果
	組織運営の見直し	<ul><li>・受講者数の増加</li><li>・運営委員の負担軽減及び運営委員会活動の</li><li>円滑化</li></ul>

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
年次 計画	検討	改善実施	⇒	⇒	⇒
年次実績	『郷GO!会議』から運営委員会に提言書を提出			運営委員会内の 部会の見直しを実 施	

		1 = 1 - 11 //	,,,			
	平成24年度取り組	み内容(実績)		平成	25年度取り組み内	容(計画)
学井上豊	:度に開講10周年を迎 :久教授を議長とした『タ :間の振り返りと、今後1	郎GO!会議』を立ち₋	上げ、	生有志による郷	』から受けた提言書を 3育カレッジ運営委員会 遺を踏まえた上で、今後	会において検討を重
ついての打	是言書を作成し、本事: ジ運営委員会に提出した	業の企画、運営を行う	_		とめた宣言書を策定し	
	平成25年度取り組	み内容(実績)		平成	26年度取り組み内	容(計画)
レッジ」ネ 10周年記	ッジ運営委員会にお・クスト10年宣言を作記念イベントなどで宣 まを行った。	成し、カレッジ開講	式や	レッジの方向性		、あらためて郷育カ カレッジ運営委員会 っていく。
	平成26年度取り組	み内容(実績)		平成	27年度取り組み内	容(計画)
育力レッ	ッジ運営委員会規糸 ジ」ネクスト10年宣言 は、市民、受講生に	を平成27年度講座	<u>—</u>		動の円滑化のため 直しを行い、会議の	
	平成27年度取り組	み内容(実績)		平成	28年度取り組み内	容(計画)
び各部会た。また、	員会活動の円滑化の 会の見直し、会議の回 講座等がマンネリ化 い、受講者数が増加	]数・内容の検討を征 しないように、部会の	一つ	運営委員の高図る。	「齢化のため、運営	委員の世代交代を
		5か年の取り組み	内容(	(実績)及び今後	後の方針	